

ため池の自然認識普及活動と観察会の開催

～ため池の調査と地域連携・顕微鏡講座の指導～

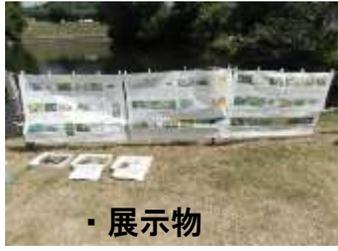
兵庫県立香寺高等学校 自然科学部
2年 今村日和・角谷ここ・樫谷咲姫
顧問 久後地平

1.ため池の生物観察会の指導

香寺高校自然科学部は、2017年から課題研究授業の、ため池調査グループとコラボして姫路市香寺町内にある農業用のため池に生息する生物相を調べてきた。今年の春から独自に活動し、これまでの活動を引き継ぐ形で8月8日の「ため池自然観察会」に向けて準備をし、実施した。久後先生の指導を受け、香寺町内の3つの小学校から参加者を募集し、今年には22家族、26人の小学生から応募いただいた。



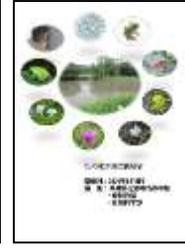
・集合写真



・展示物



・パンフレット



1：ため池に生息する植物の採集と展示

2：ため池に生育する動物の採集と展示



・植物の展示物



3:ため池に生息するプランクトンの採集と顕微鏡を用いての観察

・参加者がため池の動物を採集している様子



・プランクトンネットを使用してプランクトン採集 ・顕微鏡を用いてのプランクトン観察

2. 広報誌「ため池の自然」の発行

去年の10月から「ため池の自然」と題する広報誌を発行した。姫路市香寺町の3つの小学校と1つの中学校にクラス展示していただき、香寺町内の25の自治会には2部ずつ配布して、掲示板に提示していただいた。9月に第60号を発行して終了した。現在は、自然科学部のホームページに毎週5種類ずつアップする作業と、60号以降の広報誌を作成してホームページにアップする作業を続けている。



・広報誌「ため池の自然」

3. 顕微鏡講座

姫路科学館において小学生を対象に、顕微鏡の使い方を指導した。1日目は顕微鏡の運び方やピントの合わせ方など基礎的な使用方法を教えた。2日目は1日目の経験を応用して香寺高校自然科学部が準備した、プランクトンや河川に住む小動物と受講児童が各自持参したものを観察した。



・顕微鏡講座の様子

<自然科学部が準備したため池のプランクトンや河川に住む小動物、受講児童が各自持参したものを観察した。>

